

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

森林環境教育等の充実

平成28年5月に策定された「森林・林業基本計画」において、「E S D（持続可能な開発のための教育）に関するグローバル・アクション・プログラムがユネスコ（国際連合教育科学文化機関）総会で採択され、我が国においても、E S Dの取組が進められていることを踏まえ、持続可能な社会の構築に果たす森林・林業の役割や木材利用の意義に対する国民の理解と関心を高める取組を推進する。具体的には、関係府省や教育関係者等とも連携し、小中学校の「総合的な学習の時間」における探求的な学習への学校林等の身近な森林の活用など、青少年等が森林・林業について体験・学習する機会の提供や、木の良さやその利用の意義を学ぶ活動である「木育」を推進します。これを踏まえて、国有林においても、フィールドの提供や技術指導等を積極的に推進する。」とされました。

近畿中国森林管理局では、従来から森林管理署・森林管理事務所・森林ふれあい推進センターにおいて、森林教室や体験林業、木工教室等の実施やこれらの活動の場となるフィールド提供等を通じて、森林環境教育を推進しているところです。特に、箕面森林ふれあい推進センターにおいては、小学生向けの森林環境教育プログラムの開発、教員向け森林環境教育研修の実施、森林環境教育手引書（小学校編）や森林環境教育推奨事例集の教材作成、森林環境教育（森林E S D）活動報告・意見交換会の開催、教職員や森林環境教育実施者等に対する普及啓発や技術指導、プログラムや教材の提供等に取り組んでいます。当局においては、今後とも地域への波及効果が期待される取組を推進し、森林環境教育の充実をはかっていく考えです。



◎森林環境教育プログラム【森の探検隊】



◎森林環境教育プログラム【森の探検隊 教員研修】

森林環境教育手引書

〈小学校編〉

◎森林環境教育プログラム 箕面森林ふれあいセンター
【森林環境教育手引書（小学校編）の作成】

ニュース

地元中学生を受入 ～職場体験を実施～

【広島森林管理署】 6月30日、7月1日の両日、職場体験学習として、広島市立翠町中学校3年生の男子生徒3名を受け入れました。



1日目は当署の概要説明の後、宇品山国有林において、輪尺や測竿りんしゃく そくかんを使って木の大きさを測る実習、植生観察、保安林について説明しました。

2日目は高松山国有林で施工されている治山施設の見学のほか、手鋸による間伐実習を行いました。



生徒の皆さんは、野外での慣れない作業

や初めて使う道具での体験に苦労しながらも真剣に取り組んでいました。「植物の種類の多さ、実際の木の高さや太さに驚いた」「治山施設の役割や大切さがわかった」「木を伐るのは大変だ」等の感想をいただきました。



体験学習の前は、「森林管理署は木を伐って木材生産する職場」と皆さん思っていました。さまざまな業務の一端を体験していただいた

ことで、少しでも当署の業務を理解してもらえたと思います。2日間という短期間でしたが、所定の学習を無事終了することができました。

今年も近畿中国森林管理局では、ワークライフバランス推進の為、『ゆう活』に取り組めます。

業務に支障をきたすことがない様、適切に実施していく事としていきますので、ご理解ご協力をお願いいたします。



中学生の職場体験

【滋賀森林管理署】 6月27日(月)から7月1日(金)までの5日間、職場体験学習として大津市立田上中学校の2年生3名を受け入れました。

初日は、滋賀県長浜市にある(株)スンエン長浜営業所の木材市場を見学しました。グループでの仕分けの実演、A材とB材の見分け方の説明の後、はい積みされた材の価格予想にチャレンジし、セリの様子を間近で見学しながら落札価格を確認しました。林業は簡単に収益が上がる業種ではないが、森林を育てている方にきちんと対価が返せるようにコスト削減に取り組んでいること等を説明すると、真剣



な表情で聞いていました。

2日目は、甲賀市の三郷山国有林で山引き苗の植栽をしました。大津首席森林官みしょうくわの指導の下、実生



苗の掘り取りからはじめましたが、鍬を持つのも初めてで慣れない作業に大苦戦。粘土質の重い土に苦労しながら20株程を掘り取って植え付けました。相当にしんどい体験だったようで、3名とも「2日目が一番きつかった」と口を揃えていました。

3日目は、大津市内にある一丈野国有林で林野巡視や危険木の確認を行いました。ここはレクリエーションの



森で、ハイキングに訪れる人も多く、安全に利用してもらうために必要な作業であることを説明。遊歩道沿いで枯れている立木や、倒れそうな木がないかを確認し、危険が予期されるものについては、後日の伐採作業に必要な調査を行いました。輪尺や測竿を使った木の直径や高さの測定など初めての経験で最初は戸惑っていましたが、回数を重ねるごとに手際が良くなり、チームワークの良さが光りました。午後は「シカによる森林被害にどう向き合っていけばいいか」と題した座学を行い、急速

に増加したシカが農林業や生態系に被害を与えていること、様々な対策が講じられていることを学習しました。



4日目は、近江八幡市の伊崎国有林で、カワウによる森林被害に関する被害対策の内容や対策を行うための調査についての説明の後、間近に見える営巢中のカワウやヒナの様子を熱心に観察していました。午後は、奥島山国有林に移動して、林道終

点で輪尺、測竿、樹高測定器による収穫調査の方法を説明し、実際に現地の立木を実測しました。

最終日は、治山事業について学びました。大雨によって山が崩れた箇所に工事を行い、緑化することによって早期に森林へ戻すこと



を絵の入った資料で説明した後、大津市内の関寺国有林に移動し、治山工事現場を見学しました。また、午後



は森林の水源かん養機能について説明し、森林の大切さを理解したところで、ジオラマ作りに時間ぎりぎりまで真剣に取り組んでいました。

今回の体験は、普段接することのない林業・木材産業についての理解を深め、森林の大切さや林業関係者の苦勞に触れる得がたい経験になったのではないかと思います。将来、就職を考える際に、今回の体験を思い出し、森林関係の職業を選んでくれることを期待しています。



森と水の学習会

【広島北部森林管理署】 6月24日（金）庄原市立高野小学校5・6年生児童35名を対象に、広島北部森林管理署、アサヒの森環境保全事務所、森林総合研究所広島水源林整備事務所の3者が連携し、今年で4回目となる「森と水の学習会」を開催しました。

この学習会は、庄原市高野町内の国有林等での開催予定ではありましたが、当日は生憎の雨模様であったため、

室内でのプログラムに変更し、高野湯川コミュニティセンター（旧湯川小学校）と比和自然科学博物館で実施しました。



午前のプログラムでは、森林ボランティア団体「びほく・森のサポーターズ」の皆さんによる紙芝居と森林クイズで、「山に降った雨のゆくえ」につ

いて学んだ後、アサヒのスタッフによる「水の浄化実験」で、実際に汚れた泥水が大粒や小粒の石の層を通りながら綺麗に浄化されていく様子について観察し、森林の働きなどについて学びました。

児童からは、「下に流れ落ちる水が透明になっていてびっくりした。」などの驚きの声が上がっていました。

「丸太切り体験」では、ヒノキの丸太を、児童一人ひとりがみんなからの声援を受けながら最後まであきらめずに切り落としていました。切り落とした後は、ツルツルした切り口を触ったり匂いを嗅いだりと満足そうな様子でした。



その後「空飛ぶタネ」と題して、植物が子孫を残すために遠くまでタネを運ぶ仕組みについて「タネの模型」を作って体験し、完成した模型は誰が遠くまで飛ばせるか皆で競争がはじまるなど楽しく学びました。

午後からは、比和自然科学博物館に場所を移し、中国



山地に生息している動植物の標本やはく製、この地域で発見されたクジラの化石などを見学し、地元「ショウバラ」の名前がついたクジラがいたことに驚いた様子でした。

最後に児童からの感想では、「丸太が思うように切れず、早く切れるようになりたい」「中国山地にはいろんな動植物がいることがわかった」などの感想が聞かれました。

森の中での学習会ではありましたが、児童たちにはいろんな発見や気づきがあったように感じられた一日でした。



ケニアからの研修員が訪問 ～早生樹（センダン）～

【森林整備部 技術普及課】 7月4日（月曜日）、国立研究開発法人森林総合研究所林木育種場が実施している「国別研修「ケニア普及研修」の一環として、当局における早生樹（センダン）の植栽試験の取組みについて、情報の収集と意見交換することを目的に研修員6名が近畿中国森林管理局を訪問されました。

最初に、局長室にて馬場局長を表敬訪問し、局長から、歓迎の言葉とともに、管内の概要と国有林における役割についてお話いただきました。また、研修員からは、研修の目的などについて説明がありました。



続いて、場所を会議室に移し、高井森林整備部長より、センダンの植栽試験の取組みについて、当局がセンダンに着目した背景や植栽試験の概要、現時点で植栽試験から得られた情報などを説明し、その後、意見交換を行いました。



特に研修員からは、獣害（シカ）対策や育種の方法などについて、熱心な質問がありました。また、意見

交換では、ケニア国における育種の取組み状況等について意見を交わしました。

最後に、センダンで製作した「木製棚」を紹介し、質感やその重さを感じてもらい当局の訪問は終了しました。

研修員の方々は、ケニア国における郷土樹種の優良種苗普及体制の構築に役立てて頂くことを期待したいと思います。



お知らせ

山の日制定記念 第33回夏休み木工教室

和歌山森林管理署では、「山の日」制定記念イベントとして夏休みに小学5・6年生を対象に木工教室を開催します。

夏休みの思い出や宿題を兼ねて紀州材を使い、伸び縮みするアコーディオン型ラック「お木ラック」を作ってみませんか？初めてでもスタッフがアドバイスしながら一緒に作っていきますので、大丈夫です！

* 日時・場所

8月24日水曜日 9:30～15:00
和歌山森林管理署 1階 会議室

* 募集の対象

田辺市・上富田町周辺の小学5・6年生

* 定員・締め切り

先着30名（定員になり次第締め切りとなります。）

* 持ち物

参加費200円（保険代＋諸経費）
鉛筆、消しゴム、お弁当、お茶、タオルなど
（木工で使う材料・道具は、用意しています。）

* 申し込み方法

電話・FAXにて、受付します。
（FAXの方は、受付確認のため電話又は確認のFAXをしますので、必ず電話番号・FAX番号をお願いします。）
午前9時～午後5時まで（土日祝は除く）
〒住所・電話番号・お名前・学校名・学年をお伺いします。

* 問い合わせ・申込受付

和歌山森林管理署 担当：木工教室係
TEL：0739-22-1460 FAX：0739-25-5433
HP：http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/wakayama/information/28720_motukoukyousitu.html

山の日制定記念 「森林と木材！フォトコンテスト」

感動し、伝えたいと感じた、森林での発見・体験や木材とのふれあいの作品を募集中！！

* 募集締め切り

8月28日 日曜日 当日消印有効

お申込み・問い合わせ・詳細は、こちらのHPをご確認ください。

http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/information/160531.html

箕面の森が冒険の舞台に！ 森の謎解き探検ツアー 『古いアルバムに秘められた物語を追え！』

森の中から見つかった 1 冊の古いアルバム。

長い間そこにあったようで、写真が抜け落ちています。

あなたはこの森の謎を解き、アルバムを復元すること
ができるだろうか？

アルバムを作ったのは誰だったのでしょうか？

そして、そこにある物語とは・・・

古い物語をひもとく冒険の始まりです。

* 定員・締切

50 名・先着順に受け付け、締切

* 開催日時

8 月 21 日（日曜日）・9 月 11 日（日曜日）

10：00～17：00（受付 9：45～15：00）

* 開催場所

箕面ビジターセンター政の茶屋園地

* アクセス

自家用車・公共交通機関利用、又はイベント貸切バ
スもごさいます。（要申し込み。箕面駅～ビジターセンター間）

* プログラムについて・その他

参加者の皆さんが自らの足でヒントを探しながら、
謎を解いてストーリーを進めていくプログラムです。
森の中を歩きますので、動きやすい装備でお越しください。
小学生以下の方は、必ず大人の方も一緒にご参加ください。
会場周辺には飲食物を購入できる店舗・自販機がご
さいませんので、各自でしっかりご持参ください。
謎解きにはカメラが必要です。デジカメ、カメラ機
能付き携帯電話など、撮影した写真をその場で確認
できるものをお持ちください。（無い場合は、貸し出
ししますので、事前にお申し込みください。）

少雨決行・荒天中止（中止の場合は、前日に連絡）

* 申し込み方法

①代表者のお名前②ご連絡先（電話番号）③参加日
④参加人数⑤学年⑥大体の到着時間

* お申込み・お問い合わせ

非営利団体 vitalink

Eメール：dom.ari225@gmail.com

TEL：090-2613-0863（近藤）

* 局 HP でも詳細が、ご確認いただけます。

http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/information/h28-hureaisuisinnziguyou.html#nazotokitua

もり 森林のギャラリー（局庁舎1階）

【8 月のテーマ：イベント】

8/1 ～ 8/26 神々の国しまねの木

【島根県大阪事務所】

8/18 ～ 8/19 森林（もり）の絵本であそぼ 2016

【ピノキオ絵本で遊ぼう会】

8/29 ～ 9/4 第6回絵画グループ「くりえいと展」

【絵画グループ くりえいと】

花 草 木

今月の花草木は「蓮（ハス）」です。

ハスは、インド原産ハス科多年生の水生植物です。
花期は7月から8月で、白またはピンク色の花
を咲かせます。ハスの花は朝早く開いて、午後3
時頃には閉じます。花の開閉は3回繰り返し、4
日目には花びらが散るそうです。

ハスは、インド、スリランカ、ベトナムの国花で、
埼玉県行田市、千葉県千葉市、愛知県愛西市、
滋賀県守山市の市花となっています。

ハス（蓮）は、「蜂巢（はちす）」の略で、実
の入った花床（花中央の黄色部分）は、たくさ
んの穴があいていて、蜂の巣に似ていることから
という説があります。

また、漢字の「蓮」は、漢名からで種子が連な
ってつくことからいわれています。

根の部分は、蓮根（レンコン）になり、花、葉、
茎、種子なども食用になります。

ハスの花言葉は、「清らかな心」「神聖」「離れ
ゆく愛」「雄弁」です。

シリーズ『国有林 最前線!』

民有林との連携を目指して 総務企画部 企画調整課



国有林モニターへの現地説明会（兵庫県）



地域林政連絡会議（広島県内）

企画調整課は、平成 24 年度までは企画調整室という独立した部署でしたが、現在は総務企画部に属しています。

課内には林政推進、企画調整、監査、情報管理の 4 つの係があり、予算調整や自然災害対応、事業実行の確認である監査、情報セキュリティ対策など幅広い業務を行っています。今回はその一つ、民有林との連携に向けた取り組みをご紹介します。

1 地域のニーズを把握し、課題解決を行うための取り組み

平成 24 年度までの森林管理局は、純粋に国有林を管理する組織で、地域への貢献は副次的には行っていましたが、事業運営の主体ではありませんでした。

一般会計化後、国有林を活用した地域の貢献が求められる中で、地域の抱えている課題を把握し、国有林に何が出来ることがまず問われました。

このため、平成 25 年度から、管内各森林管理署、森林管理事務所においてニーズ把握のため、地域林政連絡会議を開催し、県や市町村の担当者と意見交換を行い、互いに連携可能な事項の掘り起こしを行っています。

2 一般の方からの意見に耳を傾け、動向を把握する取り組み

林野庁では、平成 16 年度から国有林モニター事業を行っていますが、近畿中国森林管理局では、それに先立つ平成 14 年度からモニター事業（当時の名称はグリーンモニター）を開始し、これまでに延べ約 1,300 名の方のご協力を得て、森林・林業に関する様々なご意見を頂いております。

これら各方面からいただいた膨大な情報を森林管理局の各種取り組みに活かすべく、関係各課と連携して業務を行っています。

和歌山森林管理署 龍神森林事務所

龍神森林事務所の管轄区域は、一市四町から成る、田辺市、日高川町、印南町、日高町、みなべ町であり、国有林約 3,100ha、官行造林約 390ha を管理運営しています。

管内には、日本三大美人の湯として有名な龍神温泉が湧き出ており、田辺市龍神村を流れる日高川沿いには、数々の旅館が立ち並んでいます。巡視に向かう道中では、美人に遭遇することが多いことから、脇見をしないように注意しながら、日々の業務を行っています。



日高川で鮎釣りを楽しむ釣り人

また、太平洋に注ぐ日高川は、鮎釣りの名所としても知られており、シーズンを迎えると多くの釣り人で賑わっています。

日高川町に位置する西ノ河国有林では、和歌山森林管理署、国立研究開発法人森林総合研究所森林整備センター和歌山

水源林整備事務所、住友林業株式会社、塩路株式会社、美山村森林組合の五者で「美山地域森林整備推進協定」を締結しています。約 2,600ha を対象区域として民国一体となって、森林の持つ多面的機能の高度発揮、森林資源の循環利用等の促進による森林・林業の活性化に資することを目的として各種施策を実施しています。

国有林の主な森林整備事業としては、約 74ha の間伐を予定しており、今後も民有林関係者と連携を保ちながら、龍神部内の国有林を管理していきます。



龍神温泉（露天風呂）



協定を締結している西ノ河国有林